

10月5日 馬場（馬場老人憩の家にて）

〈主なやり取りと対応状況〉

* 対応状況は⇒です。

【町役場の建替えについて】

- 設計施工は同じ建築会社か。入札により決めるのか。
⇒ 設計施工は同じ会社を選定します。選定はプロポーザル方式という方法です。
- 専門家とは町内在住者か。町民優先ではないのか。町民の中でも資格のある人がいると思う。そういう意見も聞いてくれないか。
⇒ 専門家というのは建設関係のコンサルティング会社で公募で選定しています。イメージ図的な図面については、24地区で話をさせていただき、様々なご意見いただいているところです。また設計施工業者からプランが出てきたところで町民の皆さんにご意見をいただきたいと思っています。時期としては、来年春に国府・大磯で実施する町政報告会でお示ししたいと考えています。

【町内の課題など】

- 馬場地区の老人クラブの半数は80歳以上となってきている。そのような中で町内の老人ホームで年数回会合があり役員をしているが、災害があったときにどうしたらいいのかという話が出た。災害弱者対策を考えてほしい。
⇒ 災害弱者といわれる方に対しては、大磯町では避難行動要支援者の方に関する個別避難計画が7～8割ほど作成できています。この地域での支援プランをもとに、訓練をしっかりとやっていきたいと思えます。
- 平日の運動公園はテニスコート以外、利用率が悪いのではないか。運動公園への来場のための交通手段を考えれば利用者が増えるのではないか。
⇒ 公園に限らず、高齢の方にとっては移動が難しいことから現在オンデマンドバスやタクシーを町で検討しています。
- バスも1時間に1本であり、通勤の人もこれでは不便である。
⇒ 駅と病院を結ぶ徳洲会のシャトルバスが運行されていますが、これを途中で乗車下車できないか検討いただいています。国府小学校の児童数は増えてきているので、ご不便をかけないようにしていきます。

- 不動川沿いの地域の不安材料は川より低いところに家があることで、この夏の水期には不動川沿いの新しい家の方は驚いている。
 - ⇒ 以前は国府橋のところがボトルネックになっていましたが、架け替えにより解消され、道路機能としても、治水でも大きな前進です。
 - また、不動川については、浚渫についても3年に1回ペースで実施してもらっています。
 - 8月30日の大雨では氾濫危険水位まで達しましたが、護岸は持ちこたえました。安心して大磯町でお過ごしいただけるよう、県平塚土木事務所へ治水対策を更に働きかけていきます。

- 鎌倉市から転入してきたが、鎌倉では観光客が多すぎて生活に支障をきたしている。誰のための行政なのかというほどであった。観光は何のためのものか、観光客がゴミを出してそれを市民の税金で処分している。
 - ⇒ 大磯町では観光で人を呼ぶ、人が来てくれれば良いというというわけではありません。ふるさと納税とセットにして観光客を呼び込み、町への寄付を増やして、町民の皆様の福祉財源に使いたいと思います。このような理由から寄付ができない外国人の方ではなく、日本人をターゲットにしたいと思っています。

- 運動公園北駐車場から MARIA 道沿いの窪んでいる土地に、最近ダンプカーが土砂を下ろしていた。水はけの処置もせず、土留めもない。
 - 南側にハウスがあるがそのぎりぎりまで土砂がむき出し、スロープも埋められたようである。田んぼの看板を見ると県知事も町農業委員も許可している。ハウス南側の田んぼは水が来なくなって困ったので水を引いてもらったと聞く。
 - 熱海の土砂災害のようなことが発生してしまうのではないかと恐れている。
 - ⇒ 県と大磯町農業委員会が指導を行っており、法的な措置も検討しています。

- 土砂の搬入経緯などについて地域に知らせているのか。
 - ⇒ 相手方に説明会を求めましたが断られています。

- 花火大会を3回から2回とし、海開きと海水浴場を閉めるときに実施してはどうか。
 - ⇒ 花火大会は港の駐車場利用促進も目的で、土・日曜日は普通でも利用客が多いので、利用の少ない平日ということで、金曜の夜に設定しています。

- 以前「馬場公園」信号付近の樹木選定を行っていただいた。その後4年経ち樹木も伸びてきたので剪定をお願いしたい。
 - ⇒ 私も現地確認し、11月に剪定しました。

以上